

令和7年度事業計画

I 事業方針

人生100年時代を迎える一方で、急激に少子高齢化・人口減少が進行している現在、高齢者の生き方や価値観が多様化するとともに、高齢者が社会参加しやすい環境づくりや、年齢に関わりなく一人ひとりが様々なステージで多様な活躍ができる社会の実現が望まれています。

こうした中、当センターでは、高齢者が生涯を通じ、主体的に学び続けながら、これまで培ってきた豊富な知識と経験、技能を積極的に社会参加などの活動に生かし、健康で生きがいをもって活躍できる「豊かで活力ある長寿社会づくり」の実現を目指しています。

令和7年度は、引き続き、県の施策及び関係機関と連携し、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目標に、「意識づくり」、「人づくり」、「仲間づくり・健康づくり」、「コーディネート仕組みづくり」の4つの柱に沿い、高齢者の学びと活躍を支援し、社会参加を促進する事業を着実に推進していきます。

□「意識づくり」

情報誌、ホームページや「信州版 人生ニモウサク劇場（改訂版）」により高齢者の生きがいと健康づくりに関する話題や社会参加活動の実践事例等の情報を発信し、また、地域の皆さんと語り合う県民参加型のタウンミーティングを開催するなど、「人生100年時代」を見据えた県民の意識づくりを進めます。

□「人づくり」

シニア大学の「一般コース」は、多彩なカリキュラムで学びを深め、生きがいや健康づくり、仲間づくり、社会参加のきっかけづくりを目指します。授業等を通じ、卒業後の活動の場ともなる賛助会との積極的な連携を図ります。また、「専門コース」では、様々な地域課題に向き合い解決するスキルを持ったプロデューサー的な人材を養成します。

□「仲間づくり・健康づくり」

信州ねりんピックの開催、全国健康福祉祭への出展・選手派遣など、文化・芸術活動・スポーツ等を通じた県民参加の場や賛助会員グループの交流・活動発表等の場を提供し、高齢者の生きがいや仲間づくり、健康で活躍できる社会づくりを推進します。

また、地区賛助会の運営や賛助会員グループの活動、相互交流を支援するとともに、地区賛助会とシニア大生とが連携した活動や交流を行い、会員の加入促進に努めます。

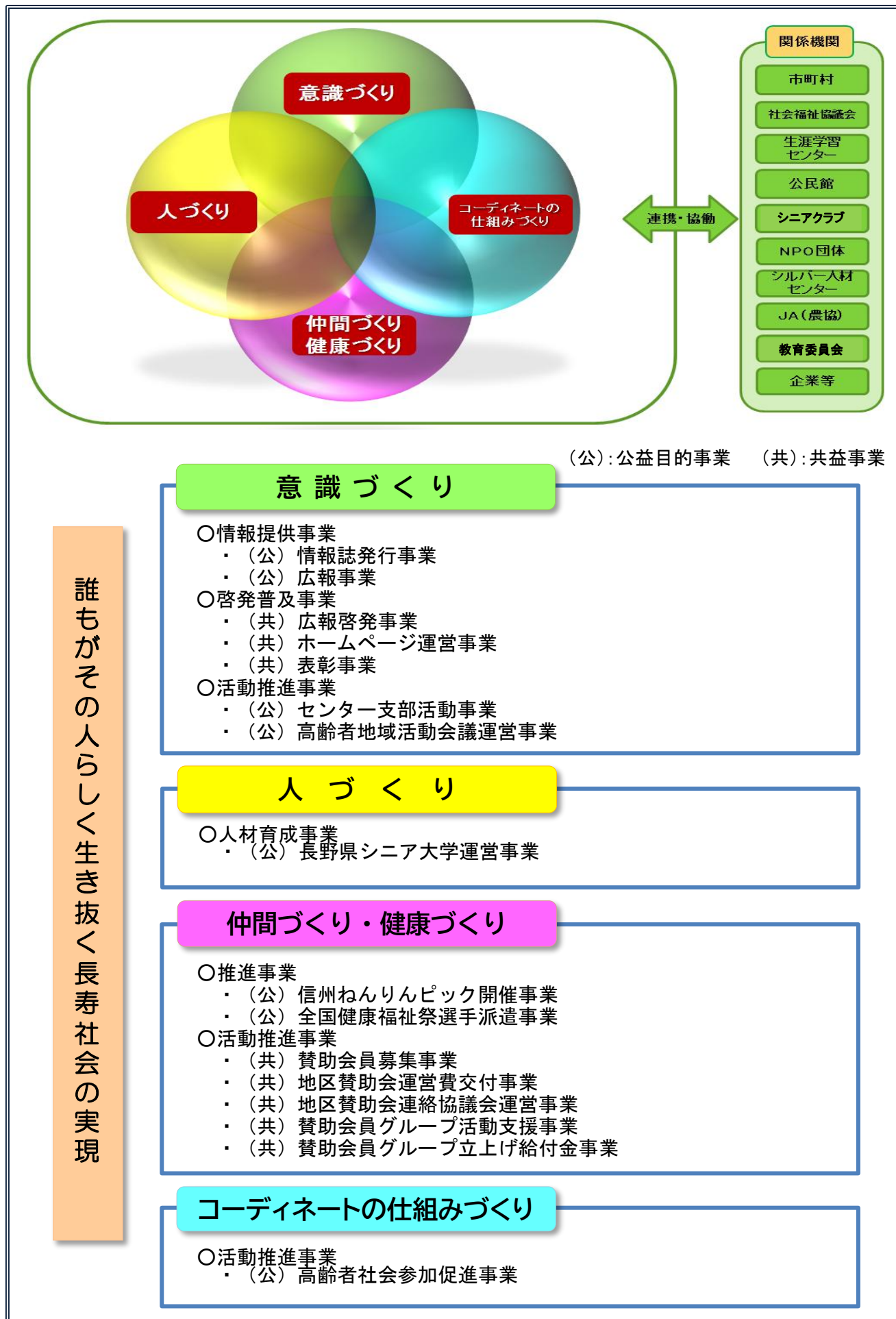
□「コーディネート仕組みづくり」

各支部のシニア活動推進コーディネーターが、相談窓口機能を担いながら、市町村をはじめ、社会福祉・高齢者・産業・生涯学習・学校教育などの多様な主体との連携体制の構築や、ネットワーク会議による情報共有、県民参加型タウンミーティング等での高齢者と地域で活躍する場のマッチング、社会参加の普及啓発などに取り組み、居場所と出番がある長寿社会づくりを進めます。

Ⅱ 事業体系

令和7年度 事業体系

公益財団法人 長野県長寿社会開発センター



Ⅲ 事業

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、シニア世代の活躍に対する意識の普及啓発・醸成を図ります。

ア 情報誌発行事業（予算額 3, 204千円）

- ・“いきいきシニアの情報誌”として発行している「信州りらく」により、信州のシニア世代の健康づくりや元気な暮らしに役立つ話題、地域で社会参加活動を行っている人々や賛助会員グループ・シニア大学の活動の紹介、信州ねんりんピック等センター事業の情報などを幅広く提供
- ▶ 発行回数 年3回（7月、11月、3月）
- ▶ 発行部数 4,000部
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、賛助会員 等

イ 広報事業（予算額 161千円）

- ・「信州版 人生ニモウサク劇場」（改訂版、冊子・Web）により、県内各地の高齢者による社会参加活動の実践事例を紹介
- ・センターパンフレット（改訂版）により、センター事業を周知

(2) 啓発普及事業

賛助会活動やセンターの運営・事業を広くPRし、活力ある長寿社会づくりにつなげます。

ア 広報啓発事業（予算額 20千円）

- ・賛助会員加入案内パンフレット（改訂版）を活用し、県民やシニア大学生、イベント参加者等へ賛助会活動の魅力を伝え、賛助会への加入を促進
- ・報道機関や関係団体への情報提供、公式LINEによる情報発信

イ ホームページ運営事業（予算額 40千円）

- ・センターの運営・事業、支部や地区賛助会の活動状況等の情報をホームページにタイムリーに掲載し、センターの周知やシニア世代の意識啓発を促進

ウ 表彰事業（予算額 20千円）

- ・高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動の推進に功績のあった賛助会員の個人・団体、センターの運営等に貢献した個人及び団体を表彰

(3) 活動推進事業

高齢者による社会参加活動を推進するため、センター支部の自主的な活動を支援します。

ア センター支部活動事業（予算額 1,400千円）

(ア) 一般事業

- ・管内の高齢者を対象に、生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業（講演会、トークセッション、作品展など）を実施

▶ 交付額 1支部当たり5万円以内

(イ) 信州ねんりんピック参加促進事業

- ・高齢者の活躍の推進に資するため、信州ねんりんピック文化・芸術交流大会への参加を促進

▶ 交付額 全支部合計で40万円以内

(ウ) シニア活躍推進事業

- ・市町村、社会福祉協議会等の関係機関・団体との連携・協働により県民参加のタウンミーティングを開催し、広く高齢者の社会参加に対する意識の向上を図るとともに、シニア世代の多様な活躍を支援

▶ 交付額 1支部当たり5万円以内

イ 高齢者地域活動会議運営事業（予算額 100千円）

- ・支部が、各圏域の市町村、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、シルバー人材センター等の関係機関が参画する「ネットワーク会議（高齢者地域活動会議）」を開催し、シニア活動推進コーディネーターと各機関・団体とが情報の提供・共有を行い、高齢者活躍支援の連携・協働体制を構築

2 人づくり

人材育成事業

シニア世代の多様な生き方、価値観を大切にしながら、自ら地域課題に気づき、学習を通して社会参加のきっかけをつかみ、社会の一員として地域とかかわる人材を育むことを目指す「長野県シニア大学」を運営します。

ア 長野県シニア大学運営事業（予算額 51,518千円）

(ア) 長野県シニア大学

① 一般コース（2年制）

＜多彩なカリキュラムで学び、地域とかかわる人材育成を目指す＞

▶ 学 部 10学部（県内各地域ごとに学部を設置）

▶ 定 員 各学年690人

▶ 学習期間及び時間数 2年間、年60時間（4時間×15日）

▶ 授業料 1人年額12,000円

▶ 入学資格 概ね50歳以上の県内在住者

② 専門コース（１年制）

＜地域課題に取り組むスキルを学び、地域づくりにかかわることができる「シニア地域プロデューサー」（※）の養成を目指す＞

- ▶ 定 員 30 人（長野学部に設置）
- ▶ 学習コース
 - ・ ライフデザイン(充実した人生設計等による創造的な生き方)
 - ・ コミュニティデザイン(住民が主体的に活動する地域の形成)
 - ・ ビジネスデザイン(地域課題解決のための社会的起業)
- ▶ 学習期間及び時間数 1 年間、年 40 時間（4 時間×10 日）（目安）
- ▶ 授業料 1 人年額 26,000 円
- ▶ 入学資格 概ね 50 歳以上の県内在住者

（※）修了生はセンターの「シニア地域プロデューサー」として登録し、高齢者の社会参加活動の推進者として、活動の実践や助言、事業の協力等を行う。

（イ）シニア大学運営委員会

- ・ シニア大学の運営、カリキュラムの企画・編成等について助言・提言

（ウ）シニア大学の周知・広報

- ・ 学生募集 P R のため、ポスター・リーフレットやセンターホームページのほか、県広報、市町村・関係機関や各種地域メディア等への協力依頼により、広く周知
- ・ シニア大学の目的や趣旨、学習内容等を広く伝えるため、学校案内を作成

3 仲間づくり・健康づくり

（1）推進事業

文化・芸術活動やスポーツ競技等を通じて、長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加の契機となる機会を提供します。

ア 信州ねんりんピック開催事業（予算額 4, 8 2 6 千円）

- ・ 県内高齢者の文化・芸術とスポーツの祭典「2025 信州ねんりんピック」を開催

（ア）文化・芸術交流大会

① 文化プログラム

- ▶ 開催期日 令和 7 年 11 月 8 日（土）
- ▶ 会 場 木曽文化公園（木曽町）

② シニア作品展

- ▶ 開催期日 令和 7 年 11 月 7 日（金）～ 8 日（土）
- ▶ 会 場 木曽町文化交流センター
- ▶ 作品部門 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の部（6 部門）

③ 囲碁・将棋大会

- ▶ 開催期日 令和 7 年 9 月 27 日（土）
- ▶ 会 場 サン・アルプス大町（大町市）

（イ）スポーツ交流大会

- ▶ 開催期日 令和 7 年 9 月 27 日（土）
- ▶ 会 場 大町市内運動施設、池田町内運動施設

4 コーディネートの仕組みづくり

高齢者社会参加促進事業（予算額 43,616千円）

本部及び全支部に配置した「シニア活動推進コーディネーター」を中心として、市町村、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、シルバー人材センター等関係機関との連携・協力体制（プラットフォーム）を構築し、高齢者の社会参加のニーズと地域社会のニーズに関する情報の一元的な提供や普及啓発などに取り組み、高齢者の社会参加の促進を図ります。

▶ 配置数 11名（本部1名、各支部1名）

5 センター（財団法人）の運営

理事会、評議員会のほか、事業の推進に必要な諸会議の開催や、関係団体等との連携等を通じて、センターの適切かつ円滑な運営を推進します。

- ▶ 理事会 5月、3月
- ▶ 評議員会 6月、3月
- ▶ 地区賛助会連絡協議会 年2回予定
- ▶ 支部事務局次長等会議 年2回予定

- ▶ 競技種目 グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、
ソフトバレーボール、ペタンク、テニス、ウォークラリー、
弓道、マレットゴルフ（9 種目）

イ 全国健康福祉祭選手派遣事業（予算額 4,869 千円）

- ・第 37 回全国健康福祉祭「ねんりんピック岐阜 2025」へ選手を派遣
 - ▶ 開催期日 令和 7 年 10 月 18 日（土）～10 月 21 日（火）
 - ▶ 開催場所 岐阜県
 - ▶ 選手団派遣予定種目数・人員 20 種目・130 人

(2) 活動推進事業

地区賛助会の運営や賛助会員グループの活動に対して助成し、賛助会活動の一層の活性化を支援します。

ア 賛助会員募集・活動推進事業（予算額 631 千円）

- ・賛助会員の加入促進のため、賛助会員の増加に向けた取組を実施

(ア) 会員の加入促進

- ・地区賛助会等と連携し、シニア大学生への勧誘を更に進めるとともに、法人会員勧誘、会員の加入促進に向けた取組を強化
- ・入会金免除を継続し、会員特典（情報誌配布、割引協力店での割引サービス、グループ活動経費の助成や立上げ資金の給付等）を P R

(イ) 割引協力店

- ・賛助会員の特典として割引協力店によるサービスを提供

イ 地区賛助会運営費交付事業（予算額 1,200 千円）

- ・地区賛助会の運営を行うために必要な経費を交付し、自主的な活動を促進
 - ▶ 助成額 1 地区賛助会につき定額 10 万円と会員数に応じた額の合算額

ウ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額 109 千円）

- ・地区賛助会連絡協議会（賛助会代表 20 人・支部事務局長 10 人で構成、会長が招集）で、社会参加活動の推進方策や地区賛助会活動等について協議・意見交換

エ 賛助会員グループ活動支援事業（予算額 1,380 千円）

- ・賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成
 - ▶ 助成額 グループ加入者 1 人当たり 1,000 円（1 会員 1 グループに限る。）
（地域づくり活動を年間 5 回以上行うグループは加算あり）

オ 賛助会員グループ立上げ給付金事業（予算額 100 千円）

- ・賛助会員による新規グループの設立に対し、給付金を給付
 - ▶ 助成額 1 グループにつき 1 万円